



平成20年5月28日

九州広域観光ルート支援モデル事業 「日豊海岸・浦(URA)ツーリズム推進協議会」の 設立総会が開催されます!

平成19年6月に閣議決定された観光立国推進基本計画を踏まえた九州独自の取組として、九州運輸局と九州地方整備局が本年度から開始する「九州広域観光ルート支援モデル事業」につきましては、対象2地域のうち、福岡県飯塚市、東峰村、大分県日田市、熊本県荒尾市を事業計画の対象とする広域地域において、去る4月30日、同広域地域の関係者で構成される協議会（事業の実施主体）が設立されました。（モデル事業等の概要は、別添の【参考資料】参照）

大分県臼杵市、津久見市、佐伯市及び宮崎県延岡市を事業計画の対象とするもう1つの広域地域におきましても、事業の実施主体となる協議会の設置に向けて、関係者間で調整が進められてきましたところ、この度、別紙のとおり「日豊海岸・浦(URA)ツーリズム推進協議会」の設立総会が開催されることとなりましたのでお知らせします。

「日豊海岸・浦(URA)ツーリズム推進協議会」の設立により、2つの広域地域においてモデル事業を着実に進める体制の基盤が整いますところ、九州運輸局と九州地方整備局は、今後、推進委員会の助言等を得ながら、2つの協議会が行う事業・取組を協調して支援し、モデルケースの確立及びその成果を活用した九州における観光の振興及び地域の活性化を目指して参ります。

〈 問い合わせ先 〉

九州運輸局 企画観光部 川村、宮野、首藤

電話 092-472-2335

九州地方整備局 企画部 岡本、川口、村田

電話 092-471-6331（内線 3132） 直通 092-471-6342

九州運輸局HP：<http://www.qst.mlit.go.jp>

九州地方整備局HP：<http://www.qsr.mlit.go.jp>

「日豊海岸・浦(URA)ツーリズム推進協議会」設立総会

1. 日 時： 平成20年5月30日（金）14：00～15：00

2. 場 所： 大分県南部振興局5階 会議室

〒876-0813 大分県佐伯市長島町1-2-1 佐伯総合庁舎内

3. 出席者（予定）：以下の組織の協議会関係者

（1）市：臼杵市、津久見市、佐伯市、延岡市

（2）観光協会等：臼杵市観光情報協会、津久見市観光協会、佐伯市観光協会、延岡観光協会

（3）NPO法人、民間企業、その他

① 臼杵地区：NPO法人うすき竹宵、ふぐの郷うすき、うすき竹宵サポーターズクラブ

② 津久見地区：津久見商業協同組合、津久見飲食店組合、津久見商工会議所青年部、（有）浜茶屋

③ 佐伯地区：かまえブルーツーリズム研究会、漁村女性起業家グループ「めばる」、ヘロンプロジェクト

④ 延岡地区：北浦地区婦人連絡協議会、きたうら風景街道、北浦総合産業、（有）糺屋本店

（4）国、県等：九州運輸局、九州地方整備局、大分県、宮崎県、九州観光推進機構

4. 総会次第

（1）開会

（2）出席者紹介

（3）行政等代表者挨拶

（4）議長選出

（5）議事

第1号議案 設立に至るまでの経緯について

第2号議案 協議会規約について

第3号議案 役員並びに正副会長の選任について

第4号議案 事業企画委員会の設置について

第5号議案 事業計画（案）について

（6）その他

（7）閉会

九州広域観光ルート支援モデル事業、モデル事業推進委員会及び モデル事業対象2地域の概要

○ 九州広域観光ルート支援モデル事業の目的

九州において、県境を越えた広域的な観光推進体制の下、広域観光モデルルートの開発、魅力ある観光資源の広域的ネットワーク化等を積極的かつ計画的に推進している地域に関し、当該地域が行うハード・ソフトの両面からの観光振興事業を九州運輸局と九州地方整備局が協調して各々の所掌事務を通して支援するモデルケースを確立、その成果を活用することにより、九州における観光の振興及び地域の活性化を図ることを目的とする。

○ 九州広域観光ルート支援モデル事業の対象となる地域の要件

以下の要件を満たす、広域観光モデルルートの開発等に取り組む地域

- (1) 県境を越えた取り組みを推進していること
- (2) テーマ型の広域観光ルートの素地があり発展が見込めること
- (3) 実施主体（協議会等）が既に設置又は今後設置することが見込まれていること

○ 九州広域観光ルート支援モデル事業推進委員会

平成19年10月30日、「九州広域観光ルート支援モデル事業」に関する次の事項の審議、決定、評価を行うために設置された委員会。

- ・ モデルケースとなる地域の公募及び選定
- ・ 選定地域の観光振興の計画に関する支援方策
- ・ 選定地域の観光振興に関する計画の実施期間内におけるフォローアップ

これまでに3回（設置と同日に第1回、昨年12月18日に第2回、本年2月19日に第3回）の委員会を開催し、対象地域の公募方法、選定、今後の進め方等について審議・決定

【九州広域観光ルート支援モデル事業推進委員会】（平成20年4月現在）

委員長 片岡 力 まちづくりアドバイザー
(元長崎国際大学人間社会学部国際観光学科教授)

委員 橋本 武 九州大学名誉教授
大江 英夫 九州観光推進機構事業本部長
山口 一朗 国土交通省九州運輸局企画観光部長
森北 佳昭 国土交通省九州地方整備局企画部長

事務局：九州運輸局企画観光部、九州地方整備局企画部

○ 九州広域観光ルート支援モデル事業の対象2地域

平成19年12月18日の第2回推進委員会において、以下の2つの広域地域を選定。

- ★ 福岡県飯塚市、東峰村、大分県日田市、熊本県荒尾市を事業計画の対象とする広域地域
広域観光ルートのテーマ：“恋の華”柳原白蓮と“炭鉱王”伊藤伝右衛門の

ゆかりの地を巡る旅

実施主体：「“恋の華”柳原白蓮と“炭鉱王”伊藤伝右衛門ルート」広域連絡協議会

【平成20年4月30日設置】

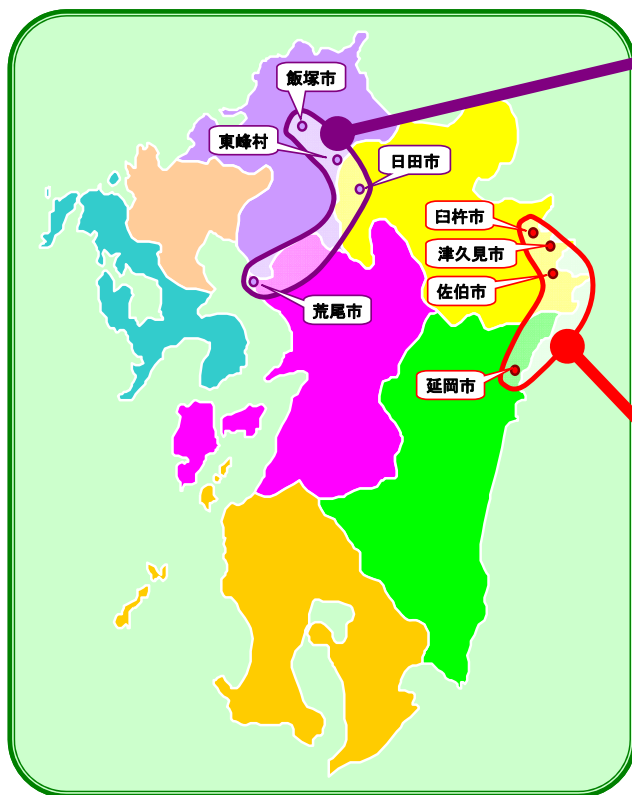
- ★ 大分県臼杵市、津久見市、佐伯市、宮崎県延岡市を事業計画の対象とする広域地域
広域観光ルートのテーマ：浦（URA）物語プロジェクト

～日豊海岸津々浦々をスローに過ごす～

実施主体：日豊海岸・浦（URA）ツーリズム推進協議会

【平成20年5月30日設置予定】

九州広域観光ルート支援モデル事業 選定地域の概要



“恋の華”柳原白蓮と“炭鉱王”伊藤伝右衛門の ゆかりの地を巡る旅

「“恋の華”柳原白蓮と“炭鉱王”伊藤伝右衛門ルート」広域連絡協議会

【計画の概要】

「筑豊の炭鉱王」と呼ばれた伊藤伝右衛門と伯爵家出身の「歌人」柳原白蓮には様々な物語があり、知的好奇心を満たす素地があることから、関連がある地区が連携し、テーマ型の旅の提案を行い、観光客の誘致を図る。具体的には、ゆかりの建物や施設の保存、管理、周辺整備や各地区連携による情報発信、PR活動等を行う。

浦（URA）物語プロジェクト ～日豊海岸津々浦々をスローに過ごす～

日豊海岸・浦（URA）ツーリズム推進協議会

【計画の概要】

風光明媚なリアス式海岸に囲まれ、国定公園にも指定されている日豊海岸には、「津々浦々」と表現されるように“浦（URA）”と呼ばれる集落が数多く点在している。「浦文化」として地域に根付く産業、歴史、食、唄等の一つひとつを掘り起こし、観光資源として磨き上げ、地域の魅力として整備、情報発信することで観光の振興及び地域の活性化を図る。